

評価A! 「地域でつなぐ女性人才」・・・1
 研究支援員制度を再開・・・1
 弘前大学で活躍する女性・男性たち・・・2
 コミュニケーションルーム計画について・・・2
 着任のあいさつ・・・3
 アピオあおもり秋まつりに初参加・・・3
 文化祭でパネル・ポスター展示・・・3
 学生も旧姓が使用できるように・・・4
 ひろだい保育園が6年目・・・4



さんかくつうしん

News Letter Vol.10

男女共同参画推進室

評価A! 女性研究者支援事業「つがルネッサンス! 地域でつなぐ女性人才」

このほど、平成22年度から24年度まで補助金を受けた文部科学省科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援モデル育成)「つがルネッサンス! 地域でつなぐ女性人才」の評価結果が公開されました。本学の総合評価はAでした。上記事業にご協力頂きました関係各位に心より感謝申し上げます。

評価コメントには、「地域の大学の特色や問題点を良く分析した上での取組であり、(中略)波及効果の高い取組が評価できる。」とあり、本学の一連の事業への取組が高く評価されました。しかし、同コメントに「今後は、理工農学系の女性研究者の増加に向けた取組を期待する。」とあり、本学の理工学研究科および農学生命科学部における女性研究者増加を促しています。

2013年11月1日現在の本学女性研究者比率は15.3%(助教以上。助手を含むと16.7%)です。当推進室では、この評価結果を踏まえ、かつ本学の男女共同参画推進行動計画に記載されている「女性教員比率を2015年までに20%に向上する」の目標に向けて、本腰をいれてこの課題に取り組んでいます。今後も当推進室へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

男女共同参画推進室

平成25年度 研究支援員制度を再開しました

研究支援員制度とは出産・育児・介護などを行っている本学の研究者の研究をサポートし、研究活動を維持・促進することを目的としています。女性研究者だけでなく、育児や介護をしている男性研究者(但し、配偶者が研究者である場合)も対象としています。また、研究者に対する支援だけでなく、本学学生に最先端の研究に触れられる機会を提供し、ロールモデルを提示することにより、男女を問わず、次世代の研究者を育成する事業でもあります。今年度は、既に3名の女性研究者が支援員制度でサポートを受けています。



平成26年度 研究支援員募集

学生の皆さん!
最先端の研究をサポートしてくれる研究支援員を募集しています。(性別、学年は問いません)

- ★大学の研究室で最先端の研究に触れてみたい!
- ★研究室って何? 研究って何?
- ★大学の研究室ってどんな雰囲気なの?
- ★どんなことをしているの?
- ★大学の研究室って、ちょっと近寄りづらいなあ...

👉 **といった悩みを解消!!**

やってみたい!
と思った貴方

男女共同参画推進室に
 今すぐメールで登録を!
equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

**詳しいことを
 聞いてみたい**
と思った貴方

男女共同参画推進室の
 中川 繭 先生に今すぐ連絡を!
 中川 繭 特任助教
equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学で活躍する女性・男性たち

父親です。育児休業中です！

財務部 藤田 康寛

私は現在、弘前大学の事務職員として財務部に在籍しています。妻は弘前大学整形外科に勤務しています。

弘前大学の男性教職員では二人目の育児休暇ということで今回の記事の依頼があり、その際に私達のケースはあまり参考にならないかもしれないので…ということをお話したのですが、それでもということで今回の依頼を承諾することになりました。参考にならないかもしれない理由は我が家は「三つ子」であるということです。

妻の妊娠中から職場の上司には、育児休暇の取得を検討していると相談していました。実際に子どもたちが生まれてすぐの時は、休暇をとらなくても何とかかなるかもしれないと思ったこともありましたが、しかし妻が今年度の4月から勤務形態を制限した形で復帰した時でも、子どもが続けて熱を出した際に休まなければならなかったことや、慢性的な中耳炎などの治療にあまり病院へ通えなかったりしたということもあり、妻が本格的に職場や大学院の研究活動に復帰した10月に併せて、私が育児休暇を取ることにしました。



職場では上司が非常に親身になって相談に乗ってくれました。実際に休暇をとる事になり、まわりの人にそのことを言うと驚かれましたが、応援してくれる声がとても多かったです。

我が家は、私の実家で夫婦と三人の子ども、そして私の両親と生活をしています。共働き状態の半年間は保育園に入所できていたのですが、現在は育児休暇の取得のため退園し、手が足りない時は保育園などの一時保育を利用しています。また子どもたちの食事や入浴は妻の帰りが遅い日が多いので、私の両親の協力が不可欠で大変助かっています。



今後は育児休暇を取得する男性教職員も増えていくと思いますが、実際に休暇を取得するとなると様々な問題に直面すると思います。家庭環境は人それぞれですし、夫婦お互いの職業・職種によって状況は様々です。しかし男性だからという理由だけで育児休暇の取得をためらうことは無いと思います。実際に休暇を取得し、子どもたちと向き合う時間も増え、日々の成長を見ていられるということは非常に幸せなことです。もし育児休暇の取得を検討している男性若手職員の方は早め早めに、いろいろなことを検討・相談しておくとも良いかもしれません。

我が家の場合は三つ子ではありますが、個々の身体的成長はほぼ一緒でも、三者三様の個性があり、年の同じ兄弟という感じです。それ故に他の家庭には無いであろう大変な事もあります。ただ、まわりの方々にも、もう少し大きくなれば一度に楽になると思うとアドバイスを頂いており、そうなれば嬉しい事・楽しいことも三倍かそれ以上になっていくと思います。育児休暇の期間はあっという間に過ぎてしまいますが、精一杯子どもたちと向き合っていきたいと思います。

女性医師のための更衣室および育児のためのコミュニケーションルーム計画について

弘前大学医学部附属病院

これから出産や育児をされる方とすでに経験されている方との懇談等のコミュニケーションや出産・育児に関するセミナー等を行うための施設の設置を計画しているところです。

併せて、従来から希望のあった、女性医師の勤務環境の改善を図るため、女性医師専用の更衣室やシャワー室、仮眠室等の設置を計画しております。

これにより、これからの出産・育児への不安の解消や、女性医師の勤務環境の改善に少しでも役立てられるよう考えておりますので、完成した際には、ぜひご活用願います。

着任のごあいさつ

「はじめまして」

男女共同参画推進室
特任助教
中川 繭



昨年の9月に男女共同参画推進室の特任助教に着任しました。

植物のかたちがどうやって決まるのか、特に環境としての光に注目して研究しています。幼いころから植物が好きでしたが、同じ植物が違う環境で育つと全然違うかたちになるのが不思議で、気がつけば植物のしなやかさとしたたかさに魅せられていました。

時には辛いこともある研究生活ですが、女性研究者の先輩や仲間が支えてくれたからこそ続けてこれたと思っています。直接恩返しはできなくても、巡り巡ってリケジョのみんなが幸せになれる社会を作る手伝いをしたいと考えて弘前大学に来ました。

また、学生時代から生物学実験を中心とした科学リテラシー教育にも取り組んでおり、中高生への出張授業など、一緒に活動してくれる人も募集しています。

興味がある方はぜひ推進室まで。

“アピオあおもり 秋まつり” 初参加しました。



弘前大学男女共同参画推進室と 本学女性研究者の紹介(パネル展示)

日 時：2013年11月10日(日)

場 所：青森県男女共同参画センター アピオあおもり

“アピオあおもり 秋まつり”に初めて参加し、男女共同参画推進室の取組や本学の女性研究者の研究内容をパネルで紹介しました。

パネル設置場所は、ラウンジ前の通路で、他にも多くのパネルが展示されていました。男女共同参画推進室のパネルの前には、移動中に足を止めたり、休憩しながらながめたり、多くの方が関心をもって見てくださっていました。

当日は雨模様でしたが、県内外から1400人が参加し、大盛況でした。これからも機会を見つけて、地域の人々に本推進室の存在と取組を広めていきたいと思っています。

このような機会を与えてくださった青森県男女共同参画センター アピオあおもりに御礼申し上げます。

第13回 弘前大学総合文化祭で パネル・ポスター展示を おこないました。



日 時：2013年10月26日(土)

～2013年10月27日(日)

場 所：弘前大学創立50周年記念会館 1階ロビー

第13回 弘前大学総合文化祭において、男女共同参画推進室の活動紹介や本学女性研究者の研究内容紹介のため、パネル・ポスター展示を行いました。

26日に68人、27日に136人、計204人の方に来場いただきました。

学生も旧姓が使用できるようになりました

弘前大学では平成26年1月から学部学生と大学院学生も旧姓使用ができるようになりました。婚姻等で戸籍上の姓が変わったら、在籍している学部や研究科に改姓届を出さなければなりません。その際に旧姓使用届を提出することで、一部の制限事項を除き、旧姓を引き続き使用することができます。たとえば、成績証明書や卒業証明書、学位記も旧姓で交付されます。また、改姓届と旧姓使用届は同時に出す必要はなく、入学前に婚姻等で姓が変わっている場合でも、旧姓使用の申出ができます。詳しくは在籍している学部や研究科の事務にお問い合わせください。

現在、弘前大学の教職員には旧姓を使用している人が14人おり、そのうち5人は男性です。旧姓を使用する理由はそれぞれだと思いますが、パスポートで旧姓併記が認められるなど、旧姓使用は社会的な権利として浸透しつつあります。共働き世帯数が1000万を突破し、結婚しても仕事を続ける女性は増え続けています。旧姓使用の選択の自由が当たり前になる時は近いかもしれません。

ひろだい保育園が6年目になりました

ひろだい保育園が開園6年目を迎えました。弘大職員に評判が良く、入所希望者が多いそうです。そこで、施設長である高木勢子氏に毎日の保育で心掛けていることなどについてインタビューをしました。



安心を提供したい



私たちは、弘大職員の皆様が安心してお子様を預けて働くことができるようにお手伝いをしています。施設長を含む12名の保育士と1名の栄養士が、0歳から就学までの基本保育40名と一時保育若干名のお子様をお預かりしています。平成26年3月には4名の園児が卒園します。

安全に配慮をして、24時間対応の保育をしています



通常の保育時間は7時30分～18時30分ですが、延長保育や夜間保育もしています。延長保育は利用日の17時まで、夜間保育は利用日の2日前の正午までにお申し込みいただくことになっていますが、緊急対応も可能です。延長保育は18時30分～20時30分で、それ以降は夜間保育となります。延長保育と夜間保育には別料金がかかります。

夜間保育は1歳から就学前園児が対象となり、複数の保育士で対応しています。子どもの生活習慣を守ることと安全配慮のために、22時以降のお迎えはお断りしています。防犯上、出入口を常に施錠しインターフォンで対応しています。また大学病院の警備員に巡回してもらっています。夜間保育の希望は一昨年までは月に数回でしたが、去年は特に多く106回の利用がありました。

毎日の保育



運動会と発表会を年に一回ずつ行っています。また昨年からリトミック教室をはじめました。当保育園の近隣に弘前公園などがありますので、お天気が良い日はお散歩や虫取り、冬には雪遊びをします。お散歩は、生きていくために必要な体力の基礎となる要素と考えています。毎日の保育に取り入れることによって、子どもたちが丈夫になってきたように思います。

補食が人気です。



希望により夕食や補食等を提供できます。これらはおうちの方にとっても人気があります。去年は特に希望が多かったです。

いつでも参観できます



おうちの方はいつでも保育の現場を参観できます。離乳食の量や食事や遊びなどの様子を確認することで子育てに役立てているようです。